

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

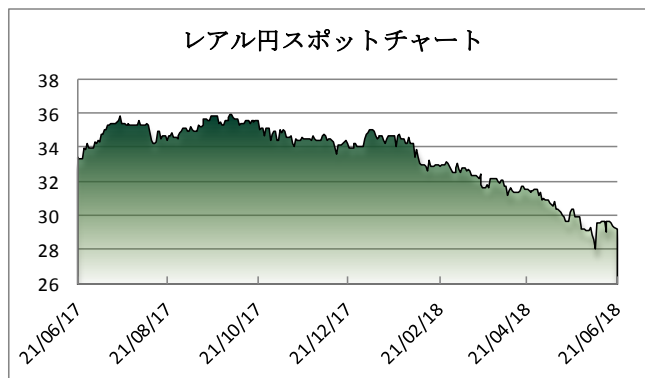
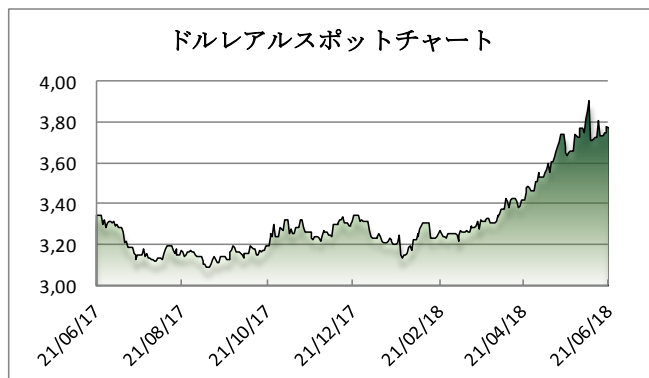
マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、米中貿易摩擦の煽りを受けて新興国通貨全般が軟調に推移する中、取引開始直後からレアル売りが加速。ブラジル中銀は2万枚(10億ドル相当)のスワップ入札を通知したものの、レアル売りの動きは衰えを見せず、再び3.80台に到達。これを受け、中銀は追加で2万枚の入札を実施。最終的に3.76台後半で取引を終えた。貿易問題については、パウエルFRB議長が、「経済成長を脅かしかねない」と発言。中国は昨日、トランプ大統領による最新の関税警告が実体化した場合、「反撃を行う」と改めて表明。また、欧州も22日から農産物などの米製品に対して25%の関税を課すと発表していることに加え、インドも報復関税を発動するなど、貿易問題がグローバルに拡大している(独ダイムラーは米国製自動車に対する中国の報復関税で中国販売台数が下振れるとして、主要企業の中で初めて今年の利益見通しを下方修正している)。新興国通貨に対するセンチメント悪化に畳み掛ける形で、ブラジル国内のファンダメンタルズも芳しくない。IBGE(ブラジル地理統計院)が昨日公表した6月IPCA-15は前年比3.68%と市場予想3.56%を大幅に上回った。足許のレアル安に加えて、トラック運転手によるストライキが食料品価格の上昇を招くなど、マーケットが懸念していた実体経済への悪影響が表面化している。格付会社Fitchも昨日公表した最新レポート内で、「ブラジルの成長率は2012-2017年の平均成長率である0.6%に落ち込む可能性がある」と指摘するなど、先行きに対する見通しは総じて下方に傾きつつある。

マーケットデータ

Indicator		Unit	6月20日	6月21日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,7721	3,7692	-0,08%	2,49%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	29,25	29,18	-0,24%	-3,41%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,3670	4,3728	0,13%	0,90%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	110,36	109,99	-0,34%	-0,95%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	127,72	127,64	-0,06%	-2,52%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	72.123	70.075	-2,84%	-14,35%	88.318	69.069
CDS Brazil 5yrs		bps	270,60	268,34	-0,84%	36,39%	285,83	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	11,83	12,06	1,94%	14,33%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)		%	7,04	7,04	0,00%	6,10%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor		%	2,3319	2,3319	0,00%	0,08%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	194,98	194,40	-0,30%	-5,49%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。